

子ども版

下松市 2021  2030

総合計画

星ふるまち

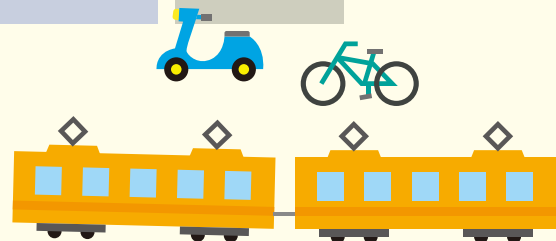
住みよき日本一の

都市と自然の
バランスのとれた



下松市

KUDAMATSU CITY

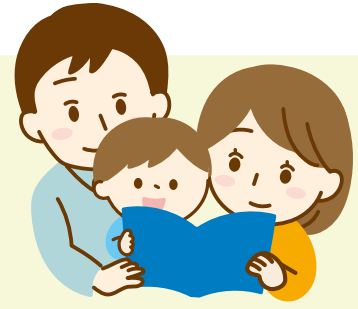


> はじめに

みんなが大人になっても住みよい下松市となるように、まちづくりの目標や取組をまとめた「下松市総合計画」を令和3(2021)年3月に作成しました。

住みよいまちづくりを進めていくためには、子どもから大人まで、みんなが力を合わせて、「オール下松」で取り組むことが大切です。

みんなもこの冊子を読んで、まちづくりの様々な取組に関心を持ち、身近なところから自分たちにできる「まちづくり」をいっしょに考え、実践してみましょう。



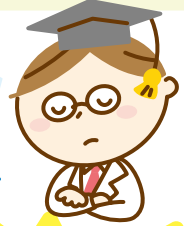
> 下松市の人口は

これまで、下松市は住みよさが評価され、人口が増えてきました。

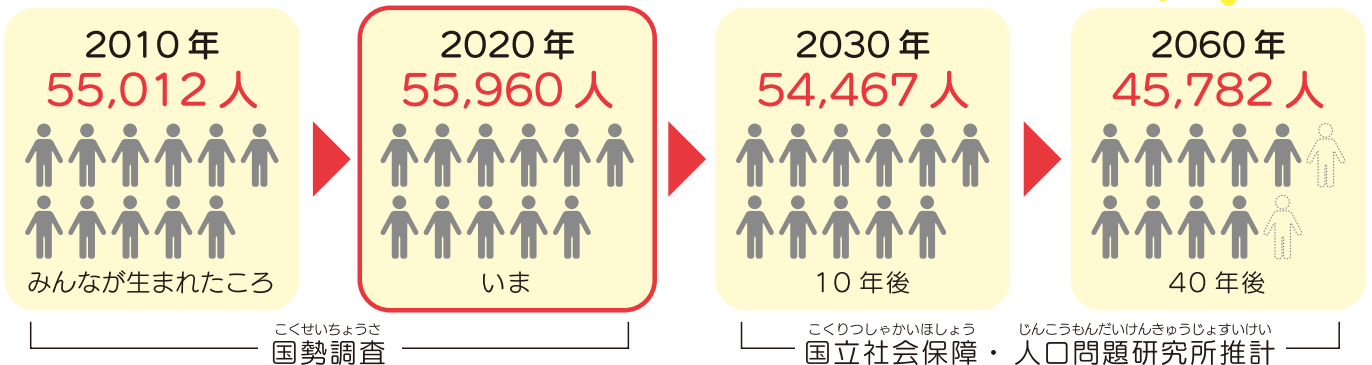
しかし、全国的には、人口減少が進んでおり、下松市においても、将来的には人口が減少すると見込まれています。

下松市の人口を守るための取組をこのまま何もしなければ…

しょうじこうれいか
人口減少や少子高齢化という言葉を聞いたことがあるけど、私たちの住む下松市も関係あるのかな？



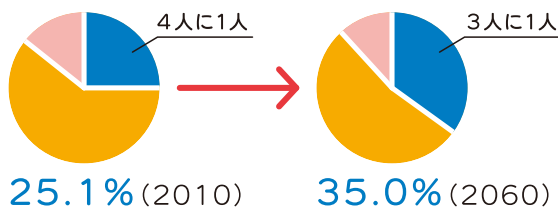
40年後には
約10,000人の
減少



65歳以上の割合が増えています！

年齢3区分別人口

- 65歳以上 ●
- 15-64歳 ●
- 0-14歳 ●



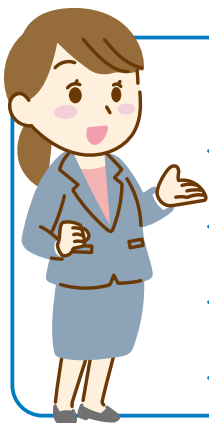
私たちが大人になったときの下松市はどんなまちになるのだろう？大丈夫なの？



↓ ワークシート

しょうじこうれいか
人口減少と少子高齢化が進んでいくとどうなるのでしょうか？

- _____
- _____
- _____



> 総合計画ってなんだろう？



くだまると
いっしょに
考えよう！

下松市PR部長
くだまる

総合計画って、
何だかむずかしそうだな～。
どんなものなんだろう。



簡単に説明すると、
下松市の未来を
よりよくするための
計画です。



> 総合計画とは

みんなが将来大人になるとき、安心して
住み続けることができるまちにしていく
ために、めざすまちの姿を決め、下松市に
暮らしている人や働いている人、学校に
通っている人など、地域みんなが一緒
になって取り組む内容をまとめたものです。

総合計画は、下松市のまちづくりを進めて
いくうえで、もっとも基本的で、大切な計画
です。

総合計画の期間は、令和3(2021)年度
から令和12(2030)年度までの10年間と
しています。



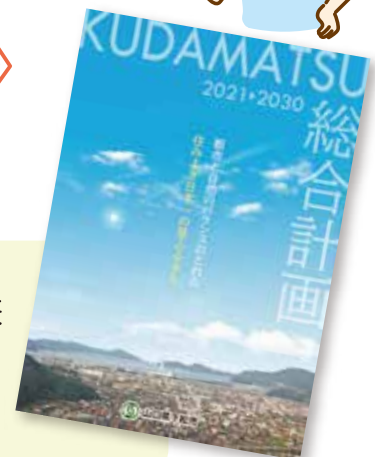
これからの下松市をよりよくするために、
「総合計画」をつくっています。



私たちが大人になっても、安心して
ずっと住みたいと思えるまちにするためには、
これからどうしていったらいいのかな？
(どんなことをしていくのかな？)

> なぜ作る必要があるの？

下松市の現状や課題を把握したうえで、下松市がめざす将来
都市像(めざすまちの姿)をはっきりさせて、それを実現する
ための取組を計画的に進めるために作りました。



>めざすまちの姿



これからめざす
下松市の姿は
どんなまちなのかな？



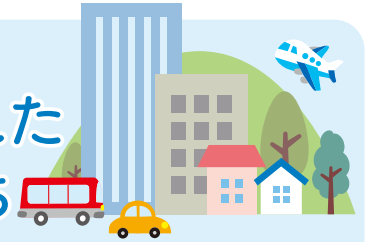
大人になっても
住み続けたいと思う
まちになってほしいな。



将来都市像(めざすまちの姿)

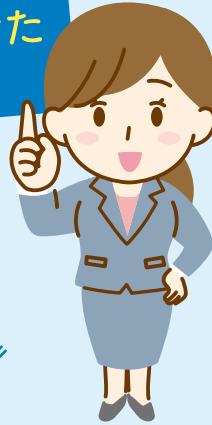


都市と自然のバランスのとれた
住みよさ日本一の星ふるまち



将来都市像の実現に向けた
取組の推進テーマ

『くだまつ愛』で
未来へつなぐ
安全安心なまち

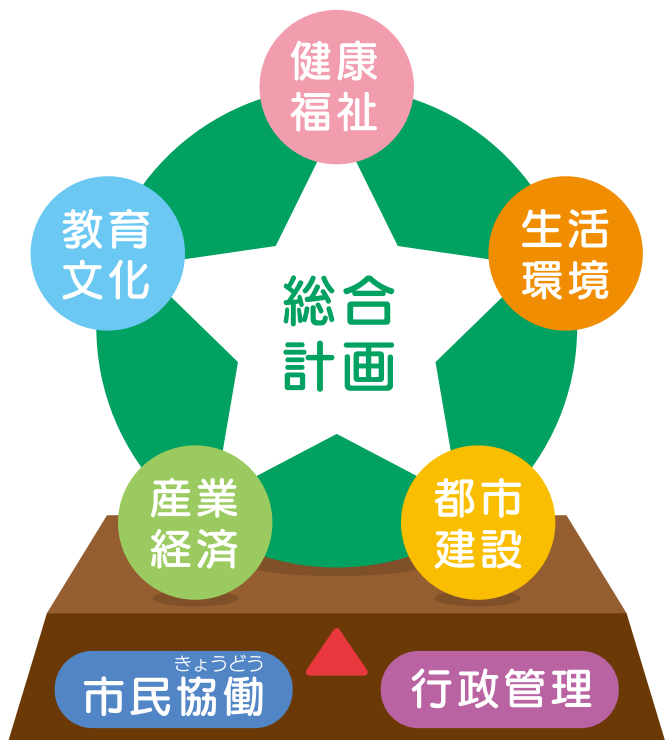


みんながふるさに
ほこ^{ほこ}あいちやく
誇りと愛着をもち、
つながり合い、支え合う
「くだまつ愛」により、
将来都市像をめざした
まちづくりを
「オール下松」で進めることで、
安全安心なまちを
未来へつないでいきます。

下松市は、山から街、そして海、島までの都市と自然の環境が、ほぼ 30 分以内というコンパクトな範囲にバランスよく配置されたまちです。

将来都市像には、安全安心をより高めることで、「星ふるまち」の言葉に象徴^{しょうちゆう}される美しさや快適性などの「住みよさ」を実感できるまちをめざしていこうという思いがこめられています。

めざすまちを実現するための
7つの柱(分野)



将来都市像をめざして、
どんな取組をするのかな？
もう少し詳しく知りたいな。

まちづくりの7つの柱(分野)

下松市では将来都市像(めざすまちの姿)の実現に向けて、様々なことに取り組めます。これから、まちづくりの取組を紹介します。



1

健康福祉

保健・医療・福祉や子育て環境の充実による、健康で元気に過ごせるまちづくり

1

健康づくりと保健・医療の充実

• みんなが健康で元気にいきいきと暮らせるまちをつくります

2

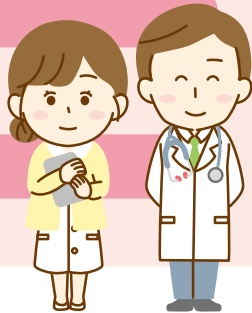
多様な福祉の充実

• 地域みんなが助け合い、支え合って暮らせるまちをつくります

3

子育て環境の充実

• 安心して子どもを産み、育てることができるまちをつくります



2

生活環境

市民生活の安全・安心確保の充実による、快適な環境で暮らせるまちづくり

1

生活の安全性確保

• 地震や大雨などの災害に強く、交通事故や犯罪が起こりにくい安全安心なまちをつくります

2

衛生的な環境づくり

• 住みよさ向上につながる美しい環境づくりに取り組めます

3

地域の環境保全

• 豊かな自然を守り、環境にやさしいまちをつくります



ワークシート

住みよいまちとはどのようなまちなのでしょう？

• _____

• _____

• _____



3 都市建設

都市基盤きばんや居住環境の整備・管理による、強靱きょうじんで機能的なまちづくり



1 計画的な土地利用



- 自然や環境を守り、バランスのとれた土地利用につなげ、コンパクトで住みやすいまちをつくります

2 都市基盤きばんの整備・管理

- 道路、上下水道、公園を整備して、快適で便利な暮らしができるまちをつくります

3 居住環境の整備



- 電車やバスなどを使って移動しやすいまちをつくります



4 産業経済

地元産業の相互連携そうごれんけいや育成・振興いくせい しんこうによる、活気と魅力に満ちたまちづくり

1 農林水産業しんこうの振興



- 特産品など地域性を活かした農林水産業しんこうの振興に取り組みます
- 地域でとれた農林水産物を地域で食べる地産地消に取り組みます



2 商工業しんこうの振興

- ものづくりの工場やお店などを応援し、商工業の活性化に取り組みます

3 創業支援しゅうろううかんきょうせいびと就労環境整備

- みんなが安心して働ける元気なまちをつくります



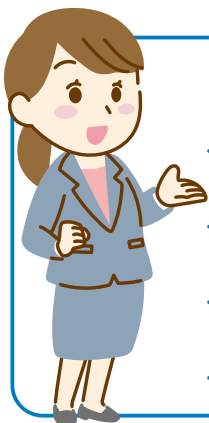
ワークシート

調べてみたいこと

• _____

• _____

• _____



5

教育文化

多様な教育・学習の機会じゅうじつの充実しょうがいによる、生涯にわたり
生き生きと学べるまちづくり

1

学校教育じゅうじつの充実



• 下松市の未来を担になう子どもたちや明日の社会を担になう人材を育てます

2

社会教育じゅうじつの充実



• 学校・家庭・地域が協力して、子どもの学力向上や生活じゅうじつの充実に取り組みます

• 子どもたちが楽しく安心して勉強できる環境の充実じゅうじつに取り組みます

3

文化振興と文化財保護

• 子どもから大人まで、みんなが学校以外でも学べるまちをつくります

• 下松固有こゆうの歴史的・文化的資源を守り、次の世代へ引き継ぐことに取り組みます



6

市民協働

自助じじよ・共助きょうじよ・公助こうじよの調和による、市民協働きょうどうで取り組む
まちづくり

1

協働体制きょうどうの確立



• 地域活動やまちづくりをみんなでいっしょに進めるまちをつくります

2

にぎわい創出そうしゅつと魅力発信

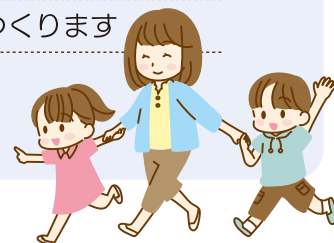
• 歴史、自然、スポーツなど下松ならではの魅力を知ってもらい、多くおとずの人が訪れ、交流し、にぎわうまちをつくります

3

人権の尊重



• みんなが地域や下松市をもっと好きになり、住み続けたいと思うまちをつくります



ワークシート

私たちにできること

• _____

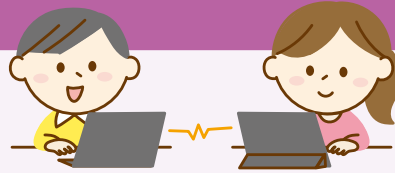
• _____

• _____

7

行政管理

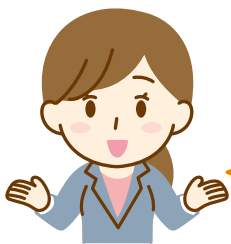
効果的・効率的な行財政運営による、健全で持続可能なまちづくり



1

効率的な行財政運営

- インターネットなどの新しい技術を活用して、みんなが利用しやすいサービスを提供します
- 限りある資源を無駄なく活用し、将来にわたり安定した行政サービスを提供し続けられるまちをつくります
- いろいろな事業を行うためのお金を確保し、みんなの税金が大切に使われるように取り組みます



将来都市像をめざして、下松市では、7つの柱でいろんなことをやっていくんだね。

暮らしやすいまちをつくるには地域みんなが協力して取り組むことが大切です！



もしも、このまま何もしないで人口減少や少子高齢化が進んでいくと…



働く人の数が減ったり



お店の数が減ったり



まちの元気がなくなる



こうならないために、市では、総合計画に載せている様々なことに取り組んでいきます。これからもできるだけ人口が減らないようにして、ずっと元気な下松市にしていくために、「将来人口 57,000 人」を目標として、みんなで力を合わせて、いっしょにまちづくりを進めていきましょう。

2020年

2030年の目標

将来人口



10年後

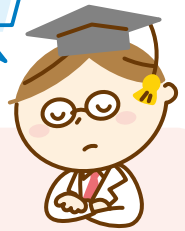


こくせいちょうさ 国勢調査基準

ちょっとひと休み



ずっと住んでいるけどピンとこないな。
下松市はいったい何が評価されているのだろうか？



住みよさが評価されるまち「くだまつ」

住みよさランキング

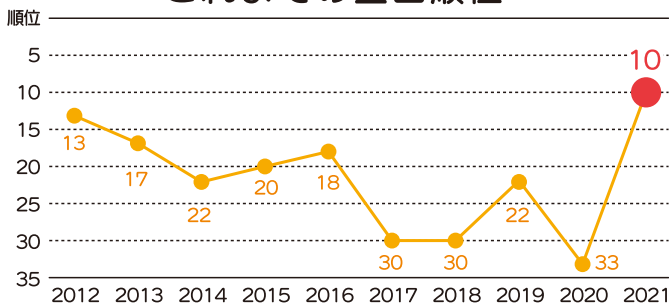
とうようけいざいしんぼうしや
東洋経済新報社が毎年発表している全国の市・特別区の「住みよさランキング」では、常に上位に位置しており、2021年版の総合評価では**812市区中10位**と、全国的に高い評価を受けています。

全国総合
10位



全国10位ってすごいよね！
みんなはどんなときに住みよいまちと思うかな？

これまでの全国順位



下松市公式マスコットキャラクター「くだまる」

プロフィール

- 誕生日: 平成 31(2019)年 3月 20日
- 性別: 不明
- 出身地: はるかかなたの星
- チャームポイント: ピンクのほっぺと星型のしっぽ



くだまるの紹介

松に星が降ってきたという伝承がまちの名前の由来になった下松。その下松に舞い降りた星の妖精で、元気で明るく誰とでも仲良くなることができる性格から下松市のPR部長にも任命されています。

市制施行 80周年を記念して、764点の応募作品の中から選ばれたよ。審査委員と市内全小学生による選挙によって決定したんだよ。みんなは投票してくれたかな？

ものづくりのまち下松の礎を築いた偉人

明治 2(1869)年に萩市に生まれた久原房之助は、造船・船渠・製鉄業の世界的工業都市の建設をめざし、大正 6(1917)年に「下松大工業都市建設計画」を発表しました。



久原 房之助
出典：国立国会図書館「近代日本人の肖像」

第一次世界大戦等の影響により計画は断念したものの、創業した日本汽船笠戸造船所は造船から鉄道車両の製造に事業転換し、大正 10(1921)年には日立製作所と合併、大正 13(1924)年には国産第 1号の大型電気機関車を生産しました。

現在の下松工業高等学校の創設にも寄与し、働く人、住む人が増え、ものづくりのまち下松の礎を築きました。

下松をどんなまちにしたかったのかな？





自分たちにできること



もっと暮らしやすいまちにするためには、市や地域で活動する人たち、会社、家族、そして市民みんなの力を合わせて、取り組んでいくことが必要なんだよ。みんなにできることは何かいっしょに考えてみよう。

できることリスト

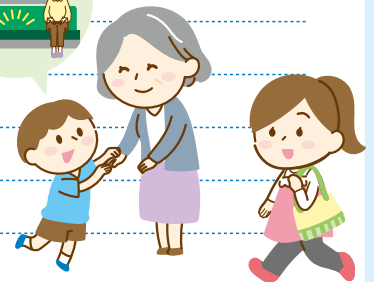
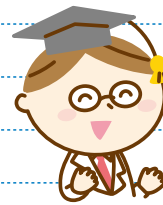
できていることには☑チェックをつけてみよう。

私たちにも関係していることなんだね。

- 地域や学校で行う防災訓練などに積極的に参加しよう
- 地震などの災害に備えて、水や食料を用意しておこう
- ゴミは分別して捨てるようにしよう
- 電気をこまめに消すなど、省エネルギーを心がけよう
- 下松市の歴史や文化を学んでみよう
- 食生活や運動など、健康づくりを心がけよう
- 早寝、早起きをし、朝ごはんを食べよう
- 下松でとれた野菜や魚をいっぱい食べよう
- 友達や近所の人にあいさつをしよう
- 電車やバスでお年寄りや身体の不自由な人に席をゆずろう
- 人の嫌がることをしないようにしよう
- 交通ルールを守ろう
- 公園利用のマナーを守ろう
- 水を大切に使う
- 下松市で買い物をしよう
- 地域や学校の行事、祭りなどに積極的に参加しよう
- 下松市のよいところを話し合っ、たくさん伝えよう



たとえば、こんなことができるよ。



• _____

• _____

• _____

もっとむずかしいことかと思っていたけど、私たちにもすぐにできるね。家族や地域の人たちと協力したら、もっとできるんじゃないのかな。私たちのまちのことをもっと知りたくなってきたよ。



まだまだできそうなことがありますね。他にできないことがありませんか考えてみましょう。





みんなで考えてみよう

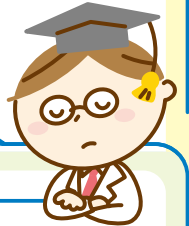
くだまつのどんなところが好きですか

下松市に住んでよかったことはなんだろう。



くだまつをどんなまちにしたいですか

もっと住みよくするために足りないことはなんだろう。



大人になったら、ふるさと「くだまつ」のために何ができるか(したいか)考えてみよう

自分の将来のことも考えて、計画してみよう。



この冊子を読んで考えたこと、感じたことを、友達、家族や地域の人などと話し合ってみよう。



下松市がこれからも暮らしやすく元気なまちであり続けるために「自分たちのまちは自分たちでつくる」という意識をもち、地域で暮らし人や働く人など、みんなが一緒に力を合わせてまちづくりに取り組んでいく必要があります。

自分たちのまちをよくするために一人ひとりができることを始めてみましょう。

『くだまつ愛』で 未来へつなぐ 安全安心なまち



(もっと)

総合計画のことを知りたいときは
下松市総合計画のホームページ

下松市 総合計画

🔍 検索

下松市総合計画 子ども版 2021▶2030

令和3(2021)年10月発行

【発行】下松市

【編集】下松市企画財政部企画政策課

〒744-8585 下松市大手町三丁目3番3号

電話 0833-45-1804

<https://www.city.kudamatsu.lg.jp/>



本冊子の作成について

本市では、令和3(2021)年3月に下松市総合計画を策定しました。
本冊子は、子どもたちがまちづくりへの興味や関心を高めるための
きっかけづくりを目的に作成したものです。

年 組

名
前